

研究機関：広島大学

研究課題名	病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗
研究期間	2022年 4月 6日(倫理委員会承認後)～ 2028年 5月 31日(1年間の解析期間を設けている)
対象者	2022年 4月 6日(承認日)から2027年5月31日の間に、院外心停止のために広島大学病院救急集中治療科に搬送された患者さん
意義・目的	院外心停止症例の社会復帰率は非常に低いことが問題になっています。本研究では、実態と効果が明らかでない院外心停止例に対する搬送先病院の治療体制及び、低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを前向きに登録・分析し、搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療戦略を検討することを目的としています。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は心停止に関する情報(心停止時間や心電図波形など)、年齢、性別、血液検査(血算、生化学、凝固、血液ガス)や心電図などの検査情報、低体温療法などの治療内容、脳機能など転帰に関する情報、などで(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター(研究責任者 石見 拓)が主研究施設であり、日本救急医学会学会主導のもと、全国の救急科専門医を有する施設が研究に参加しています。2021年12月末時点で、全国で102施設が参加しています。(研究事務局に情報を集め、主施設である京都大学を始め、参加施設が解析します。)
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 志馬 伸朗
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5456 広島大学病院救急集中治療医学 職名 助教 菊谷 知也